

日本工芸会奨励賞

りん よう すかしぐみ はな かこ きょう そう
輪葉透組花籃「響相」田辺 竹雲斎
葉の形が連なり構成され、存在同士が共鳴し織り
なす響きを表現しました。



日本工芸会奨励賞

きり かね かざり ぼこ は こう
截金飾箱「波煌」中埜 朗子

日の光を受けて輝く波。波は絶えずうねり光を反射
し見る角度によって違う表情を見せる。その風景を
イメージして、箔の直線や曲線で截金ならではの表
現を試みました。



日本工芸会新人賞

かた み かわゆい こざれ もん よう し ふく がた て ぼこ
片身替古裂文様仕覆形手箱

須藤 拓

美術工芸の名品に見られる布を模した表現に
挑戦すべく、半身毎に違う裂で作られる片身替
りの仕覆を模した手箱を、赤銅や四分一といっ
た日本の伝統的な合金を用いて制作しました。

現在する伝統を300余点のスケールで一堂に

日本伝統工芸展

大阪展

文部科学大臣賞

とう そ んの わ し ぼり ほし と
桐塑布和紙貼「星取り」

木村 美智子

檜ヶ岳山小屋から仰ぎ見た満天の星の輝
き! 奈良時代、少年が掲げる棒の先にも、
きっとあの美しい星空が広がっていた事だ
ろうと。平城宮跡にて。



2025.10.16^{TUE}-10.21^{TUE}

大阪高島屋7階 グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後6時30分(午後7時閉場) 入場料〈税込〉＝一般500円(300円)／大学生以下無料

※最終日10月21日(火)は午後4時30分まで(午後5時閉場) ※()内は前売りの割引料金。前売券は、セブンチケット、ローソンチケットにて10月15日(水)までお求めいただけます。

※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

※都合により、催し内容・会期などが変更または中止になる場合がございます。最新の情報は日本工芸会近畿支部のホームページをご覧ください。

主催＝大阪府教育委員会、NHK大阪放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝大阪市 協賛＝パナソニック ホールディングス株式会社

列品解説

10月16日(木)	午後2時〈陶 芸〉石橋 裕史
10月17日(金)	午後2時〈漆 芸〉岸本 圭司
10月18日(土)	午後2時〈金 工〉三好 正豊
10月19日(日)	午後2時〈染 織〉村上 良子 重要無形文化財保持者
	午後3時〈人 形〉満丸 正人
10月20日(月)	午後2時〈木竹工〉宮本 貞治 重要無形文化財保持者
10月21日(火)	午後2時〈諸工芸〉中村 佳睦・渡邊 明

自作を語る

10月18日(土)	午前11時〈人 形〉木村 美智子〈諸工芸〉中埜 朗子
10月19日(日)	午前11時〈木竹工〉田辺 竹雲斎〈金 工〉須藤 拓

特別展示

わざを伝える「彫金」桂 盛仁
重要無形文化財保持者



English
information

The 72nd JAPAN TRADITIONAL Kōgei EXHIBITION

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると思います。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第72回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品300余点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞
がらすじゅうばこ おりばな
硝子重箱「織花」
和泉 香織



高松宮記念賞
すずしきもの まんようきたん
生絹着物「万葉綺譚」
神谷 あかね



東京都知事賞
もりかご すいか
盛籃「瑞花」
本田 青海



NHK会長賞
がらす かなぐ
烏うり 金具
竹花 万貴



朝日新聞社賞
ちんきんぞうがんほうせきばこ のぞみ
沈金象嵌宝石箱「希海」
水尻 清甫



日本工芸会会長賞
しよくさいはち
織彩鉢
早川 嘉



日本工芸会保持者賞
びぜんこんこうはくでいかき
備前混淆白泥花器
隠崎 隆一



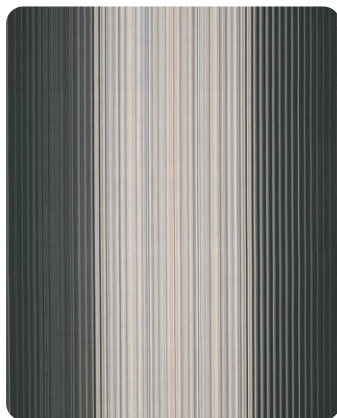
日本工芸会奨励賞
もくはんずりさらさきもの ゆうけい
木版摺更紗着物「遊景」
鈴田 清人



日本工芸会奨励賞
かんしつろくべんりんか もりき
乾漆六弁輪花盛器
伴野 崇



日本工芸会奨励賞
けやきふきうるし もりき しゅうこう
櫨拭漆盛器「舟行」
川口 清三



日本工芸会新人賞
こくらおりおび よいあかつき
小倉織帯「宵暁」
内山 啓大



日本工芸会新人賞
かんしつきんまばこかこう
乾漆蒔轆轤箱「花光」
鈴木 元子

同時
開催

「工芸の美—未来へ—」

7階グランドホール前 特設会場

第72回展出品作家による暮らしに寄り添う作品を展覧いたします。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上 京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205

<https://nihonkogeikaikinki.jp/>

